

教育目標（育成する人材像）

マンガは世界共通の視覚言語であり、情報伝達ツールであります。とりわけ、「ストーリーマンガ」は日本で独自の発展を遂げてきました。また、若者文化を代表し、つねに時代の先端に行くことも特徴です。本学科では単に「マンガ家を育てる」だけではなく、視覚言語というコミュニケーション力を培い、最新の技術と情報をいち早くサーチし、社会のあらゆる分野で活躍できる人材を育てます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

修得する能力

探求力	常に好奇心を持って物事をよく観察し、課題や可能性を発見することができる。
思考力	知識と経験をもとに、人間や物事の関係性を学び、考察を深めることができる。
発想・構想力	柔軟な思考からアイデアを創出し、それを具現化するためのプロセスを構築することができる。
表現力	様々な表現方法を体得し、自身がイメージしたことを他者に的確に伝えることができる。
行動力	目的に近づくための計画（目標）を立て、能動的に行動することができる。
継続力	目標達成に対して強い意思を持ち、粘り強く取り組むことができる。
コミュニケーション力	意見や価値観の多様性を理解し、他者との交流の中から新たな表現を創造することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

○マンガの可能性は多様で、未開発のニーズ也多岐にわたります。出版社を中心とする従来のマンガ制作はもとより、イラスト・アニメ・webマンガ、また一般企業内での情報発信の発案者としてそのスキルをいかすべくキャリアデザインを組み立てるためのカリキュラムを用意しています。

○1年次：発想法や表現技術の基礎を学び、集団の中での自己啓発を促進します。

○2年次：基礎技術から応用編に移り自ら選択して専門技術を深めます。

○3～4年次：インターンシップ等を通して社会に通用する職業人の育成を目指します。

○なお、1年次から出版社への投稿・持込みを奨励し、会社訪問のマナーや職業意識の向上に努めると共に「先端の情報に触れて時代の風を読む」訓練を促進します。